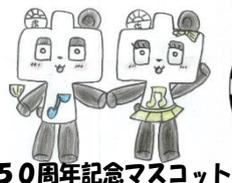


「つたえよう」「わかり合おう」「つながろう」 学校だより



50周年記念マスコット



伸びゆく子

令和2年7月29日

横浜市立中沢小学校

8 月 号

想いを引き継ぐ

校長 小倉 克彦

梅雨明けは遅れているようですが、4年生が昨年地域の方にご支援いただきながら正門脇の斜面に植えたコリが次々と花をつけている景色が夏らしく、心が元気になります。皆様、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

さて、7月になり全校一斉の登下校、給食や午後の授業も再開し段階的な学校再開が形の上では一区切りしました。現状では、感染症予防を第一に考え、従来中沢小学校で大切にしてきた話し合い活動、異学年交流、地域や保護者の皆様との交流等には制限をかけて教育活動を展開しています。しかしながら、子どもたちの安全・健康に配慮しつつ「人とのあたたかなかわり」を通して子どもたちが本来もっている力を発揮し成長していけるようにする教育活動については、引き続き全職員で模索、工夫をしながら展開して参ります。

7月の朝会で、6年生の代表が全校児童に向けて中沢小学校のスローガン「つたえよう」「わかりあおう」「つながろう」の実現にむけて力強い宣言をしました。このスローガンは一昨年の6年生中心に児童会で決定したもので、昨年度も6年生が全校の先頭に立って「挨拶運動」「異学年交流」などをすすめながら引き継ぎをした大切な「想い」です。放送をしたのは代表の3名でしたが、ここまで大切にしてきたスローガンや取組を今年も「大切にしていこう」という学年全体の想いが伝わりとても嬉しく、心強く思いました。

そして、先週の朝会では、旭中学校の1年生2名が昨年度の後半に児童会で作成した中沢小学校のマスコットを放送で発表してくれました。マスコットは中沢小学校創立50周年に向けてスローガンに込められた想いをデザインしたもので、本来であれば卒業前に全校の前で発表する予定でした。放送朝会で発表したマスコットは現在、校長室前の廊下に掲示しています。廊下を通る子どもたちが立ち止まりじっと見入ったり、デザインに込められた意味について話し合ったりしている様子を見かけるにつけ、卒業生の想いが在校生にしっかり引き継がれているように感じられ感動しています。

また、合唱団も活動を再開しています。先日、6年生の団員数人とお話をする機会がありました。本年度は例年のようなコンクールに向けた取組は予定されていませんが「今はみんなで歌えることがうれしい」「地域の方や在校生に歌声を届ける方法を考えたい」と意気込みを聞かせてくれました。

子どもたちは一人ひとり前を向いて学校生活を送っています。この2カ月、学校に来て、友だちと過ごし、勉強すること自体、3カ月の休校を経た子どもたちにとっては本当に大変だったと思っています。夏休みを迎えるにあたり、子どもたちにかかわる地域・保護者の皆さん、教職員で、子どもたちに「ここまで本当によく頑張りましたね。」「夏休みにしっかり充電しましょう。」と伝えたいと思います。いかがでしょうか。

今年は8月のはじめから2週間あまりの短い夏休みです。子どもたちは勿論、保護者、地域の皆様も、健康で安全にお過ごしくださることを心より願っています。今年の状況を踏まえ、子どもたちの充実した学校生活が実現できるよう職員一同しっかりと考え、準備して夏休み明けを迎えたいと思っています。ここまで様々なご理解、ご支援をいただき本当にありがとうございました。夏休み明けからもよろしくお願いたします。